

### みんなのページ

身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。■あて先 〒950-1292 白根市大字白根1235 白根市企画財政課広報コミュニティ係

### 西潟訥と大矢透のこと

川村 正史 (六十二歳・上赤巻)

先日、部屋を整理していたところ、昭和四十九年十一月に市立図書館主催で行われた「郷土の偉人、西潟訥・大矢透展」のパンフレットが出てきたので、懐かしく眺めていました。少しこの二人の人物について皆さんにご紹介したいと思えます。

西潟訥は幼少のころから勉強が好きで、弁舌にも優れていました。後に戊辰の役後の越後府に出仕、次いで佐渡民政局聴訟改革御用掛を務め、最終的には大審院判事となった人物です。詳しいことを知りたい方は、新潟県教育百年史(明治編)に出ていますので、お読みになってみてください。次に大矢透ですが、仮名の研究を一生涯の仕事とし、多くの著書論文を手掛

けました。仮名研究において第一人者となった文学博士です。もし白根市史巻七通史の教育と文化をお読みになることがあれば、この二人についても思い出していただければ幸いです。皆さんも郷土の偉人について調べてみてはいかがでしょうか。

### 旬の思想

真嶋 つぎえ (七十歳・中町)

少し前の話ですが、友人からタケノコをいただきました。「大豊作だったので、どうぞ存分に食べてみてください。」とメモ書きが添えられていました。「汁に一葉卵と筍飯」

友人は以前、数年前に他界した夫と二人で民宿を営んで頑張っていました。そんな彼女は、家の裏の竹山では蛇が現れたり、山菜が豊富に採れたりする静かな山間の集落で生活しています。遊山せばたちまち太る筍かな

この出来事で、わたしも若いころにタケノコ掘りをしたことを、ふと思ひ出しました。彼女もわたしも今では白髪の君となり、静かな余生を送っているものの、食糧不足を経験した者にとって、四季折々の旬を食するということは、誠にうれしい限りです。今日もきれいな弥彦峰の姿を見ながら、旬のこちそうで幸福な一日を過ごせました。彼女に感謝、ありがとう。太陽と日がな呼応の雲の峰

### 孫とカッコウ鳥

丸山 啓子 (六十八歳・五六の町6)

少し前に、二歳の孫を連れて久しぶりに実家に寄った時のことです。姉とお茶を飲みながら話をしていたら、突然澄みきった大きな声で「カッコウカッコウ」とカッコウ鳥が鳴き始めました。音に敏感な孫は「あれ、なんだ」と初めて聞く声に驚き、その姿を見ようと外を眺めていました。「あれはカッコウ鳥」といって、カッコウカッコウと鳴くんだよ」と教えると、分かったような分からないような顔で、また鳴くの待っていました。そんなに実家とは離れていませんが、あまり自宅では声を聞くことがありません。また新聞の投書欄でも、カッコウの音が聞けなくなったと嘆いている人がいました。昔はカッコウが鳴くと、田植えになったものです。今のよう機械作業ではなく、人の手で作業していました。昼食には、母が煮しめやかぶ漬けなどいろいろと作ってくれたものを、道にゴザを敷いて十人くらいで食べたものでした。そのころをカッコウの声で、ふと思ひ出しました。また中学の時、カッコウワルツを学芸会で踊ったこともあり、カッコウが大好きでした。あの澄んだ大きな鳴き声を、もう一度孫と聞きたかったのですが、いつの間にか声は聞こえなくなりました。家に帰ってからも、孫は「カッコウカッコウ」とまねしていました。

### 俳句

たちまちに雲押し来て来雨空に  
古川 綾  
含羞草桃色の花まるまると  
細貝 漢子  
湯宿より見ゆる漁火夜の秋  
笠原 里津  
緑陰に映たてかけて一休み  
堀内ナナ子  
イルカショウいつも満員夏休み  
小林 光子  
梅雨明けの陽差しの眩し木々眩し  
本間しげ子  
初挽ぎの大桃二つ供へけり  
相田 照子  
桃を盛るうす紫の江戸切子  
勝山 絢子  
バス降りて初朝に迎へられ  
五十嵐理恵  
鉄舟の扁額のあり夏座敷  
木村 トリ  
梅雨明けてなほ低温の日のつづく  
公條 雪夫  
コスモスに支柱を立てて起しけり  
知野 慶子  
生かされる命を惜しむ蓮花火  
小林富沙子  
孫二人墓参りの手にハスの花  
石黒 陽子  
胡瓜もみ砕きなり重ねたし  
真嶋 裕子  
不揃ひの団子土産の精霊送り  
小林きみえ  
夜学子の窓に赤々夜の深む  
知野信一郎  
新婚の写真を添て夏見舞  
小林 なお  
吾れだけに聞かせたく鳴く夜啼かな  
真嶋つぎえ  
在りし日といふは切なし額の花  
丸山 虚秋  
原点に裸一貫冷奴  
山田 栄一  
わが影を映して澄り用水路  
石口十四二

### 広報クイズ

#### 図書券が当たる!

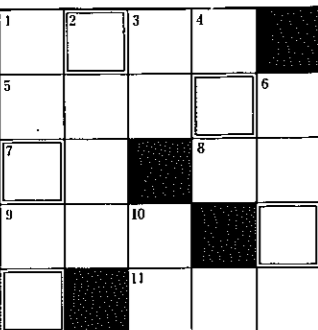
はがきに答え(完成図は不要です)、住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見(市から回答が必要な場合は、その旨)を書いて、10月17日(金)必着で白根市企画財政課広報コミュニティ係(〒950-1292 白根市大字白根)へお送りください。※EメールでもOK。正解者の中から抽選で3人に500円の図書券、5人に粗品を差し上げます。正解者の発表は11月1日号で行います。9月1日号の正解はコシヒカリ。正解者は35人でした。▼図書券 佐藤八重子(大通西)、広井千美(大通南2)、星野瑞希(養口) ▼粗品 小川真依(日の出町)、金子圭子(大通南4)、高野絵美子(犬塚新田)、高橋由美子(鴛巻桜町)、皆川百合子(日の出町) ※敬称略

#### ◆ヨコのカギ

- ①祭りをを行う日
- ⑤頭の後ろの髪、○○○○○を引く
- ⑦錫
- ⑧静岡県の東部、○○半島、○○七島
- ⑨Poem、詩
- ⑩シネマトグラフの略

#### ◆タテのカギ

- ①左腕投手、ボクシングの左構え
- ②礎
- ③○○と見る
- ④動物の雄と雌、一対
- ⑥玉の形になった模様
- ⑩人類、獸類、鳥類、魚介類以外のお動物の総称昆虫など



□の字をならべてください。18年ぶりです

### インフルエンザに



今年もインフルエンザの流行する時期がやってきます。そこで今号では重症化を防ぐためにも、インフルエンザについて詳しくご紹介します。

インフルエンザは、ウイルスが原因で起こる呼吸器の病気です。普通の風邪と違う点は、三九度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強いところと、

さらに気管支炎・肺炎、子どもでは熱性けいれんなどを併発し、重症化することがあるのも大きな特徴です。普通の風邪と同様の症状もみられるので、「単なる風邪」と自分で軽く判断せず、具合が悪くなったなら早めに医療機関で受診しましょう。

#### 予防するために

- ①インフルエンザを予防するため、特に次の四つのことを心掛けましょう。
- ②過度な栄養をとること。特に睡眠を十分にすること。
- ③空気が乾燥するとインフルエンザにかりやすくなるので、部屋の湿度を30〜45%に保つこと。
- ④水分を十分に補給し、バランスの良い食事をすること。
- ⑤インフルエンザが流行し始めたなら、なるべく人混みを避け、帰宅後はう

#### がいと手洗いを忘れないこと。

毎年日本では、インフルエンザは十二月から三月までの四か月に流行する傾向にあります。重症になりやすい乳幼児や高齢者については、流行前に予防接種を受けると効果があると言われていますので、抗体ができるまでの一か月間を考え、できれば十月から十一月末までに接種しましょう。なお高齢者については、市の助成が受けられます。

インフルエンザは風邪の予防と併せて、日ごろからの生活に注意することが大切です。適度な運動をし、心身を鍛えるなど、冬場に向け、しっかりとした健康管理を心掛けましょう。

#### 高齢者のインフルエンザ予防接種

対象	接種日現在65歳以上の人/60~64歳までの、心臓、腎臓、呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害がある人
期間	平成15年10月1日~16年3月31日
負担額	1,050円(生活保護世帯は別定)
接種方法	医療機関に予約をし、受けるときに保険証を持参。予診票等の必要書類は、医療機関、市保健福祉課、各地域生活センターにあります

広げ 健康家族 143 保健福祉課 ☎237

#### 短歌

可憐にも美し野菊川向う 渡辺 勤  
名月や語彙の貧しさ如何せん 川村まさし  
雉子の鳴く声に目覚めて散歩する道に五月の朝日きらめく 河内 公夫  
羽音たて庭に降り来し山鳩が鯉泳ぐ水しづかに飲みぬ 木川 久子  
失敗も成功も良し還暦とうに過ぎたる我の挑戦 田中 恭子  
十二本のトマトの移植にかかりて夫とわれとの一日が過ぐ 星 ハツノ  
心地よく生き得る範囲またひとつ己れに託し今を楽しむ 大旗 イツ

#### 川柳

背に金庫三途の川は渡れない 大谷 龍吉  
大器晩成望遠鏡で見てる的 今井 七郎  
障害が布施の心を目覚めさせ 河内 勝哉  
農政の不作を嘆う雀の子 田村 恒夫  
大丈夫医師の目を見てほっとする 田中 弘子  
地球儀を回して平和な国探す 中村 尚治  
気乗りせぬ歩巾がリズム狂わせる 西条 ムラ  
目を閉じて虫の音を聞く仕舞い風呂 山岡 フミ  
限界を知って理想を差し替える 吉川 彰  
落陽は神に背かめ明日の彩 織田 セツ  
ビリだつてカメラワークのいい走り 今井八重子  
外出に急いで戻る入歯入れ 五十嵐耕野  
再会を共に喜ぶ敬老会 横山 自助